

《平成 19 年度生活環境科提言》

今年度の生活環境科は「あなたが健康なら 地球も健康—身体・心の健康があれば、地域も健康になっていく」をテーマに講座を開きました。

その講座に対してのアンケートに「続けていく難しさ・守っていく難しさ・呼びかけることの難しさ」などの意見が寄せられました。

生活環境の悪化に対して即効性の特効薬が無い現状を考えれば、漢方薬のように『継続すること』が生活環境を改善するキーワードになると思います。

それを踏まえて、今年度の生活環境科は、『継続すること』の重要性を主題に3つの提言をいたします。

① 身体を健康を維持する

介護予防体操や地域医療の講座では、これからの少子高齢化社会の中で予防医療の大切さを実感しました。また、老後をいかに健康的に楽しく過ごすかなどの講演を受け、地域との交流のなかで刺激を受けながら、少しずつでも毎日継続した体操をすることにより、心身ともに潤った生活を送れると学びました。

現在、町内各地で健康体操が開かれています。もっと手軽に自宅に居ながら家族や友人と体操ができるように、それぞれの適正に応じた体操をビデオテープやDVDとして貸し出ししていただきたいです。また、かみテレビも曜日単位の健康チャンネルではなく、ラジオ体操のように毎日決まった時間に放映してもらえれば、健康体操が習慣化していくのではないかと思います。

② 環境についての発信基地の設立

ザ・ゴミゼロズの皆さんの活動について学び、また共にクリーン活動を体験し、グループの皆さんの環境に対する熱心な姿に感銘を受けました。そして、これらの活動を多くの住民皆さんにも広めていければと考えました。

そこで、町内の空き施設に環境・エコギャラリーを設けていただき、活動されている個人、団体の活動報告や発表、仲間を集う場として利用してもらおう。また、小・中学校での環境・エコに関する学習発表・自由研究なども展示してもらおう。

その他、コンセントと電気器具の間に接続して消費電力と電気料金を概算で表示する「エコワット」などの貸し出しも検討していただきたいです。

③ 地域に誇りを持たせる活動

杉原紙研究所で、紙すきの体験と杉原紙ができあがるまでの行程をビデオ鑑賞しました。その中で、ふるさとの伝統文化の奥深さ、また守り継いでいくことの難しさや大切さを学びました。

私たちが住んでいる町に対して誇りを持つことで、より美しい町、より住みよい町になっていくと思います。特に心の伸びしろが大きい小学生時代に脈々と受け継がれているふるさと自慢を体験してほしいです。

例えば、中区の伝統ある芸能活動を鑑賞する、八千代区の豆腐作りを体験する、加美区の杉原紙で卒業証書を手漉きするなどです。

以上の3点を提言いたします。